


# 鶴見あけぼの保育園だより2025月号

寒中御見舞い申し上げます。

新しい年が明け、久しぶりに会った子ども達はぐん!と大きくなっていました。年末年始にご家族や親類と有意義な時間を過ごされたことが想像できる姿・表情でした。連絡帳を見ると休みの間どう過ごされたかの他に、「保育園に行きたがっていました」という記述も多く、嬉しくなりました。今年も子ども達が保育園楽しみ! 行きたい! 会いたい! と思えるよう、職員皆で力を合わせて充実した保育をつくっていきます。

引き続きのご支援ご協力よろしく願います。

(園長 穴井)

「笑う門には福来る!」

12月のお誕生日会を担当した保育士が、この言葉を紹介しながら福笑いを披露してくれました。

知っている言葉ではありませんが普段あまり使うことがないので改めて「笑う門には福来る」といい言葉だなと思いました。

声を出して笑うこと! 笑顔! を大切に、又、日々意識して過ごしたいものです。

笑顔で福を呼びましょ!

声のトーンも明るいと福を呼びます!!

低すぎず... 高すぎず...

♪♪♪ ぐらゐの音が、理想のようです。

「ええええ 笑声」って知ってる?

声を聞いただけで笑顔が想像できる声です。

新しい年の幕明け、笑顔と笑声を意識してみたら、きっといいことが...

やっぱりいいね

みんなでご食べるって...

お正月に家族と共に、食卓を囲みおせちやごちそうを食べたことと思います。

園では暮れの12月19日には、2階ホールでもちつき会をし、夕のお父さん・お母さんにお手伝いいただきました。

年明け1月10日には、園庭で七草がゆを炊き、健康に過ごせるようお願いながら皆で食べました。生命力あふれる春の七草の紹介を浦主任がしてくれ、とんぼさんが火起こしをし、各クラスに分かれてじっくり・ゆっくり七草を切り、おかゆの大鍋に丁寧に草を入れました。

子どもも大人もひびひびりが役目を持ち、力を発揮し、食べるまでの過程を楽しみ、期待に胸をふくらめ熱・熱を7-7しながら食べた幸せな時間・空間でした。